

9月4日の文教・子育て支援委員会で、「保育園給食調理業務の委託施園拡大について」子育て支援部保育課長から報告されました。

その内容は、平成19年度4月から保育園給食調理業務を新たに2園で委託すること、実施園は原保育園と荒川さつき保育園であることが示されました。

この日は審議案件が盛り沢山で、午前、午後にわたっての長い委員会でしたが、その疲れもみせない勢いで、各会派の議員より、「始まって半年でちゃんと検証ができているのか」「拙速すぎるのでは」「小・中学校給食は全面委託になっているが、いろんな問題がおきていることをきいている。こっちもちゃんと検証すべき」、といった意見が活発に出されました。

「保育園給食調理業務の委託施園拡大について」石澤保育課長より事業内容の説明がされました。

## ねらい

食育の推進、アレルギー対応、土曜日給食内容充実等、サービス向上のため、非常勤栄養士の配置と給食調理の業務委託を行う。

## 18年度の実施状況

18年度は三河島とひぐらしの2園で実施。

- アレルギー対応⇒保護者から満足の評価
- 土曜日の給食内容、行事食の充実が図られている
- 食育の推進については、空豆を用いて園児への食育を実施したり、展示食にコメントを入れる等を行っている
- 給食だよりを3回発行
- 試食会を実施：延べ100名以上の参加
- 費用削減の効果：2園で約900万円の削減

## 19年度の計画

- 人員削減等の状況から2園の給食調理を委託する。
  - 費用削減及びサービス向上の効果が大きい0歳児園であること、設備等の物的条件から、原保育園、荒川さつき保育園が妥当であると判断した。
- 今後の予定：了解が得られれば、12月～3月に契約の準備、周知、非常勤栄養士の募集等を行い、4月より委託開始

6ヶ月間の実施  
状況の報告でし

アレルギー対応について、除去食から代替食対応となったことは、親の負担の軽減にもなる。他の園でも、ぜひ早期に対応をすすめてほしい。

栄養士や看護師がいれば対応可能であると思えるし、他の園についても体制的に対応できるのではないかと是非とりくんでほしい。(新星)

保護者への説明会の開催は？(新星)

給食の食材は地元で購入している。  
栄養士の配置で、食材の購入について、マニュアル化していて、融通がつかず、地元の商店にしわよせがいつているのではないかと懸念がある。それについてはどうか？(公明党)

## 文教子育て支援委員会 で出された意見、質問

委託開始後5ヶ月が経過したが、そんな短期間で検証ができるのか？また、委託会社の職員の入れ替わりについて、入れ替わりがないのが望ましいが、逆に同じ人を配置するように求めると、今問題となっている偽装請負の問題につながる。それから全園民間委託の方針を出したが、それはどうか。(共産党)

学校も大変だし、ましてや保育園の勤務の人は大変だと思う。もう少し待遇を考えてもいいのではないだろうか。

自分は民間委託は賛成の立場であるが、保育園給食の委託の導入については、大変な業務であることもあり、もっと慎重にいくべきだと考える。1、2年ぐらいかけて検証していくといった対応が必要なのではないか。これについて、担当部長の考え方を是非伺いたい。(自民党)

予算について、どのように算定するのか？広告等でパート職員の募集をみると時給が非常に低く抑えられているように思われるが。(新星)

今後の委託計画についてはどうであるか？(新星)

学校給食について、導入当初は業者の方も緊迫感をもって業務に臨んでいたと思う。

数年前に全部委託になったが、その後どうであるか、評価をしているのか。(公明党)

全園委託となると、何を基準にしてどうというのがいえなくなる。

どこか1、2園基準となる園を設けるようにして、直営と民間委託を競わせながら、全体の質の向上をはかってはどうか？(公明党)

食育・アレルギー対応のため、栄養士の配置をしたが、非常勤栄養士が勤務時間内でどのような内容でやっているのか？(共産党)

大手のフジ産業の社長が新聞で「外部委託が20%以上になったら食材の一括購入もしたい」といっている。今後そういう問題もでてくるだろうし、まずは現状の把握、非常勤の実態把握もしていき、必要なところに必要な負担をしていこうと考えてほしい。(共産党)



# 今回提案のまとめ

## 原保育園・荒川さつき保育園を選択した理由

「栄養士配置等による効果が大きい0歳児保育実施園である」、「調理員専用の休憩室やトイレ等の物的条件が整っている保育園である」という2点の理由。

「栄養士配置等による効果が大きい0歳児保育実施園である」については、0歳児保育実施園では、現在調理員3人が配置されているため、3人の人件費を削減できるという費用削減効果が大きいという理由のようです。

提案資料によると、費用削減効果は、調理員3人×2園で、栄養士配置に関わる費用増を加味し、およそ約900万円とのことでした。

## 保護者への説明

原保育園、荒川さつき保育園の保護者には9月20日、21日にそれぞれ委託説明会が行われました。今回は委託該当保育園以外の保育園への説明はされていません。状況を見ながら検討します。

## 今後の予定

- 12月 業者推薦会の開催、調査開始
- 1月中 契約の準備、  
非常勤栄養士の募集
- 3月 委託業者研修
- 4月 委託開始

# 今回の委託、とても不安です！！

## 委託を引き受けてくれる業者がいるのでしょうか？

平成18年度は、指名競争入札で業者選定を行いました。選定委員会で選定した業者は5社でした。最初に行われた三河島保育園の入札では、業者の提示した価格がいずれも区の予定価格を上回ったため、再入札となりました。2社が辞退した2回目の入札も、参加した3社とも再び区の予定価格を上回ったため、一番低い価格を示した「(株)藤江」と協議の上随意契約となりました。

次に行われたひぐらし保育園の入札は、「(株)藤江」は入札辞退し、4社が参加。同様の経過で再入札となり、またもや2社が入札を辞退し、最終的に入札に参加したのは2社。しかし、いずれも予定価格を上回ったため、より低い価格を示した「(株)富士産業」と随意契約となり、端から見ると不健全な状況での業者選定となりました。

区は「いずれ保育園給食をすべて民間委託する」と言っていますが、果たして、今の条件のまま引き受けてくれる業者がどれだけあるのか、その結果、どんどん業者の選定基準が引き下げられていくのではないかと、不安に感じます。

## 委託業者の職員の入れ替りがおきました

委託開始前に区が主催した説明会で、父母から、「民間委託すると調理士さんがどんどん入れ替わる。十分な習熟期間がとれないため、まともに給食が出てこなかったりした例がある。」という、調理士の入れ替わりの激しさを問題視する意見が数多く寄せられました。

片方の園では、保育園給食調理の経験が豊富な常勤社員を3人配置し、安定した人員体制が敷かれているのに対し、もう一方の園では5月、6月に相次いでパート職員が入れ替わり、8月には副主任が会社の事情で異動という状況です。「給食はちゃんと出てるから問題ない」と区は言いますが、親が一番不安に感じていた問題が、委託開始早々におきたことに、大きな不信感を持ちました。

## 非常勤栄養士さんが過重労働になっていないでしょうか？

今回配置された栄養士さんは非常勤で、一日6時間、週5日勤務です。一般の民間企業と異なり、残業をしても残業費が出ません。仕事は食材の発注、納品チェック、調理の指示書の作成、代替食メニューと指示書作成、検食、報告書記入等々・・・日常的な仕事だけでも大変そうです。これに加え代替食対応のための面談、食育、区がいう在宅育児支援もあります。例えばアレルギー対応の指示ミス一つが園児の命取りになりかねない責任のある仕事を、決して良いとはいえない勤務条件でまかせているという状況です。大丈夫でしょうか？

# たった半年の評価で次の委託に踏み切るのですか？

このように沢山の不安材料や問題が出ているのに、区はたった半年の検証で、来年度さらに2園の給食調理を民間業者に委託すると言っています。半年の検証で、何がわかったのでしょうか？

「サービス向上を効率的に行うために、民間委託をすすめる」というのが区のキャッチフレーズです。しかし時間をかけて「サービス向上」がどの程度か、またどのぐらいの効率化がはかれているのか、問題はないのか等々、きちんとした検証をしながら、本当のサービス向上めざし、利用者が不安を感じないようなシステムを作り上げてほしいと切に願います。

「保育園給食を考える荒川区民の会」  
は保育園給食をよりよくする会です。  
多くの方のご参加をお待ちしています。

保育園給食、学校給食についてのご意見、ご要望などを、前記のメールアドレスまでお寄せください。

ニュースのバックナンバーはHPからダウンロードできます。

